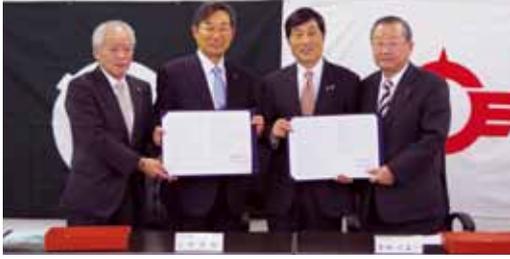


三田市・鳥羽市災害時相互応援協定締結式



市と兵庫県三田市は1月18日、昨年7月の友好都市宣言締結に続いて、被災時に両市が互いに応援協力しあうことを約束する災害時相互応援協定を結びました。

この日市役所を訪れた三田市の竹内英明市長は、「地理的状況から両市が同時に被災する可能性は低く、両市民の安全安心で幸せな生活を推進するためにも、本協定は有効だ」と述べ、木田市長も「本協定を締結していただいた三田市に感謝したい。また、防災面に限らず、歴史や文化、物産などさまざまな面で交流を深めていきたい」と語りました。

友好都市・三田市と災害時相互応援協定



保健福祉センターひだまり前駐車場で1月22日、昨年度から実施している森林整備で間伐した木材を搬出・加工したまきストーブ用の燃料や土壌調整用チップを一般家庭での使用を目的に無償で配布しました。

あいにくの天気でしたが、大勢の市民が訪れ、約14tもの間伐材が1時間余りで無くなるほどの大盛況でした。

自然循環型エネルギー利用を目指して



市は1月13日、市民文化会館で平成25年鳥羽市成人式を行い、色鮮やかな振り袖や袴、スーツ姿で出席した新成人210人の新たな門出を祝いました。今年も、新成人でつくる実行委員会により開催テーマが初めて掲げられ、「みんなに贈ることば『ありがとう』」をテーマに式が進められました。

オープニングセレモニーで鳥羽マーチングスポーツ少年団による演奏が行われた後、木田市長をはじめ来賓のかたがたから祝辞が送られました。続いて市内6中学校の卒業アルバムを編集した「思い出のピクチャー」が上映され、会場には中学時代を懐かしむ声や笑いがあふれていました。

式典後には、記念撮影をする姿などがたくさん見られ、旧友との再会を喜び合い、思い出話に花を咲かせていました。

新たな門出に「ありがとう」を



安楽島町の介護老人保健施設「豊和苑」で1月12日、施設利用者のお年寄りに初笑いを届けるため、市能楽保存会による子ども狂言が開かれました。

この日は、伊勢市の狂言師森浩一さんから指導を受けている市内の小中学生13人のうち、市立鳥羽小学校の児童4人が同施設を訪れ、「以呂波」と「しびり」を披露しました。

320年受け継がれてきた伝統に、お年寄りから大きな拍手が送られていました。

初笑いをお届け